

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズエール本拠Ⅱ

公表日 令和8年 3月  
利用児童数 令和8年 3月

回収数 31

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
								も
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	5		2	・勉強スペースや遊びスペースが別になっているので、集中しやすいと思います。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25			6	・実察しているわけではないので。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27			4	・活動によって区切られているのでいいと思います。 ・勉強するスペースが別になっているので、集中しやすいと思います。	活動や支援内容に応じて、空間を分けたり整えたりして、環境づくりに努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1		3	・清潔に行き届いているとは思いたい。	日々の清掃だけでなく、廊下整理整頓に努め、清潔な空間づくりを心掛けていきます。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に即した専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1			・子どもに合った支援がされていると感じます。・いろいろ考えて対応していただいていると感じます。	これからもう一人一人のお子さんの理解を大切にし、個に応じた指導を考えていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			3	・ここでやらしてもらおうパソコンのおかげで、家でモタイング練習をはじめました。		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31				・子どもの様子を見て提案いただく事もあり、助かっています。		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	2		1		将来に驚がる力の育成を意図し、一致した支援を提供していきます。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1			・子どもの性格や状態を考えて、支援を行ってもらえている。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	2		2	・土曜・祝日・長期休みのプログラムは、どれも楽しそうに工夫されています。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のごともと活動する機会がありますか。	14	4	1	12	・利用してまだ日が浅く、よくわかりません。	今後、実施可能な環境が整えば、実施を検討していきます。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2			・見学したときに説明してもらいました。		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	4	4	8	・もしあれば、参加してみたいです。	有用だと思われる研修会や情報があればお伝えさせていただきます。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	29	2			・なにかあればいつもちゃんとしてくれる。 ・ノート、LINE、写真がとても嬉しいです。		
保護者への説明	16 定期的に、面談や子育てに関する助産等の支援が行われていますか。	29	1		1	・相談した時にアドバイスをしてもらえます。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1			・家で先生たちの話をよくしてくれます。		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。	10	4	6	11		御要望があれば、実施を検討していきます。	
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1		1	・LINEやノートですぐに返えていただけるので、満足しています。		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	2			・相談したらすぐに対応してもらえています。		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	1		1		SNS等を通じて、活動の様子を全体に発信したり、写真やコメント等を直接保護者の方に配信したりしています。	
	22 個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			4			
	非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			5		
		24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		8	・行事予定で見たことがあります。	定期的に訓練を実施しています。今後も実施の際に、予定の周知などをしています。
		25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2		3		
26 事故等（怪我等を含む、）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		29			2	・小さいけがやトラブルもすぐに連絡してもらえます。	今後も事業が生じた際には、速やかな連絡対応を心掛けていきます。	
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	31				・行くのがいやという話は聞いたことがないです。		
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3		1	・楽しく通っているようです。 ・本人の精神状態によって変わる。		
	29 事業所の支援に満足していますか。	29	2			・いろいろと相談のついでにいただき、とても助かっています。ありがとうございます。		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 キッズエール本巣Ⅱ

公表日 令和6年 3月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・訓練室は、体を動かしたい子と静かに過ごしたい子、どちらも楽しく過ごせるよう時間やスペース分けるなど工夫している。・訓練室内だけでなく、学習室も分かれており、静かに過ごしたい児童が落ち着いて過ごせるよう空間づくりを工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		・児童送迎時に、職員の数が十分でないと感じるときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			・時間によって部屋を仕切るネットやカーテンを設置して活動によって分けられるようにしている。・目で見てわかるような掲示をしている。・物の片づけ場所がわかるようラベル化をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・消毒液を各所に置き、随時拭くなど、清潔を侯てるように心掛けている。	・使っていないものごまめな収納や、活動時に机や床をよごさないよう工夫していくとよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・リコーダーの練習など音の出る個人活動や静かに過ごしたい児童のためなど、幅広い理由で個室を利用して支援をおこなっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・朝礼と夕礼を毎日行い、その日の活動のポイントの共有と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・毎日ケース会議を開き、児童の支援内容などについて、意見交換と共有ができていていると感じる。	・機会はあるが、一人一人の先生の率直な意見をさらに聞き、業務改善につながっていくようにしたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		・待って新しく入社された社員や未経験の社員が放課後デイサービスや当事業所についての基本を理解できるよう研修を位置づけたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・モニタリング時や送迎時に寄せられた保護者の要望や意見を全職員に共有し、どのような計画を立てればよいか、どのような支援が必要かを日頃の様子などを加味して作成することができている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・モニタリング後や個別支援計画作成時に、全職員で共有を図り、ケース会で意見を出し合い、支援内容の改善と把握に努めている。	・職員間で支援で大切にしていることや考え方も違いがあるため、会議等で共通理解を図っていくことを大切にしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・本人への支援の他に、家族支援や移行支援なども設定し、全職員が把握したうえで支援を実施することができている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・毎月どのような活動を行っていくかを2か月前から意見を出し合い、検討会議を行いながら、プログラムの作成を進めている。	・各日の職員活動の計画は、順番に各個人のアイデアをもとに立案準備を進めている。各段階で気軽に相談し合えるようにしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・その時期や季節に合った活動を取り入れるよう全職員の意見を集め、プログラムを工夫するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個人のチャレンジタイム(個別の追究活動)と集団活動を日ごとに分けて支援に取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎日個々のケース会議を開き、児童の状況や保護者の意向と照らしながら検証を行い、次回の支援方法の改善を図っている。	・日々のケース会の記録を残し、休み等で不在の職員にも共有できるように差配を行っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	・自立支援、日常生活の充実、創作活動、余暇の提供という各視点はバランスを考えながら、利用者の特性に応じて支援を行えている	・地域交流の機会が提供できるようにしていきたい。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6		・集団活動だけでなく、個別支援では自分で活動を選択し自己決定を促すプロセスを大切にしている。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1			

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校から子どもの様子や送迎に関わる連絡があった場合、対応をすぐに協議するなど、必要に応じて連携を密にするようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。			・この事例はまだありません。	（該当する方が、現在までのところありません。）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		・今後実施可能な環境を整え、実施を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		・今後、実施可能な環境を整え、参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時や、連絡線などを用いて様子を逐一保護者に伝え、保護者から寄りごとを聞き取り、支援に繋げていくことができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・有用だと思われる研修会や情報があれば、情報提供させていただきます。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・相談されたその場で適切な言葉を返さないときは一度持ち帰り、複数職員に相談した上で助言ができるようにしている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		・要望があれば、実施を検討していきます
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に通知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情を全職員が認知し、苦情があった点に対して原因と具体的な改善策について協議し改善を図ることができている。	
42		定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
43		個人情報取り扱いに十分留意しているか。	6			
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		・運営にゆとりが生まれ、有用性を見込める環境を整えれば、実施を検討していきます。
非常災害等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に通知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・各マニュアルを作成し職員で共有している ・防災訓練などは防災訓練担当を交代で担いながら、定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・対象や内容を変えながら定期的に非難訓練等を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・服薬やアレルギー確認など、事前に行い、職員共有を行えている。	・事前の確認、職員共有はできているが、定期的に確認を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		（該当する事例が、現在の所ありません。）	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール本巣Ⅱ		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業向け自己評価表作成日	2026年3月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育支援に関わる職員の専門性・人間性・人員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を有する職員（理学療法士・心理士・保育士・教員免許保有者や児童指導員といった多数の専門職員）の配置。</li> <li>・子どもの気持ちを大切に与えること、保護者の想いを想起しながら支援を意識すること、職員同士のつながりをより良いものにする事等、事業所に関わる全ての“人”を大切にすマインドを常に意識しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社と事業所の理念が共有できる方、人間性を重視した採用基準を維持していきます。</li> <li>・言語聴覚支援など、様々な専門知識を求めニーズに応えていける体制を求めています。</li> <li>・利用者（児童や保護者）に対して、常に気持ちを尊重し、相手の立場にたった誠実な対応を心掛けていきます。</li> </ul>
2	個別支援における保護者や地域のニーズを考慮した療育・支援の提供、集団療育における社会性を育むさまざまな学びや生活体験の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援のほか、パソコン学習など将来に役立つことを踏って様々な活動を位置づけています。また、自己選択、自己決定をする過程を大切に選択活動の時間も設定しています。</li> <li>・子どもが自分の興味関心によって、得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、楽しく過ごしながら自己肯定感を高め、子ども自身のエンパワメントにつながる支援を心掛けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の他に、現在行っている集団療育も大切にしていきます。集団で一つの活動を行い、人の気持ちをくみ取る力や、自分の感情をコントロールし折り合いをつけるしなやかな心など、社会性や人との関わりを学ぶために、関わりの実体験や練習を通し、学校や社会へと繋がる、人と共に生きる力の育みを目指します。</li> </ul>
3	保護者への連絡・報告等、お子様の様子を情報提供し共有する体制 保護者の不安や困りごとなどの相談に寄り添う支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に保護者の立場、目線に立つことを大切にし、お子様の一日の生活や活動の様子から得られた気づき、成長を感じる姿や変化、今後の課題や目標などを、様々な方法でお伝えし、共有しています。</li> <li>・送迎時やコミュニケーションツールを用いて、その日の様子をお伝えするなど日頃から現場の先生方が御家族とのコミュニケーションを図るようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の相談に丁寧に対応していくことができるよう、職員間の質の良いコミュニケーションをしっかりと図りながら、全職員で支援が行っていただけるようにしていきます。</li> <li>・今後も全職員で御家族の話を共有するようにし、管理責任者と現場職員と共同で保護者対応に向かう体制を継続してまいります。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など御家族が交流する機会やペアレントトレーニングを行う機会をもうけることができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、子どもの療育や支援にマンパワーを要している状況。</li> <li>・お子さん一人一人の特性や家庭環境や学校での状況がそれぞれ異なるため、保護者間の交流の場であまり交点が見つかるとは限らない。共働きで時間が取れない御家庭が多いことなどから実施できていない現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングができる人材、交流会を準備運営する所員数を確保する。</li> <li>・効果的な保護者会ができる手立てを考える。</li> </ul>
2	地域住民（子ども）との関わりや交流など、地域に向けた事業所運営ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の療育や支援といった「本人支援」に重点を置いている。加えてできるだけ「家族支援」を行うことを大切にしている。一方で「地域支援および地域連携」までは広げられていない。情報収集不足もあり、取り組みが行えていない現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を収集し、公園や遊具がある施設だけでなく、学びや体験につながるイベントや地域サークルなどの参加も検討していく。地域にある様々な社会資本を活用することを計画に位置付けていく。</li> </ul>
3	訓練等実施していることの周知・発信不足保護者の方への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する周知・発信不足。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の取り組みを定期的に行うことや緊急時の対応資料等は作成しているが、周知機会が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の取り組みや緊急時の対応について、SNSやコミュニケーションツールを通して、時期を見て保護者へ周知していく。</li> </ul>